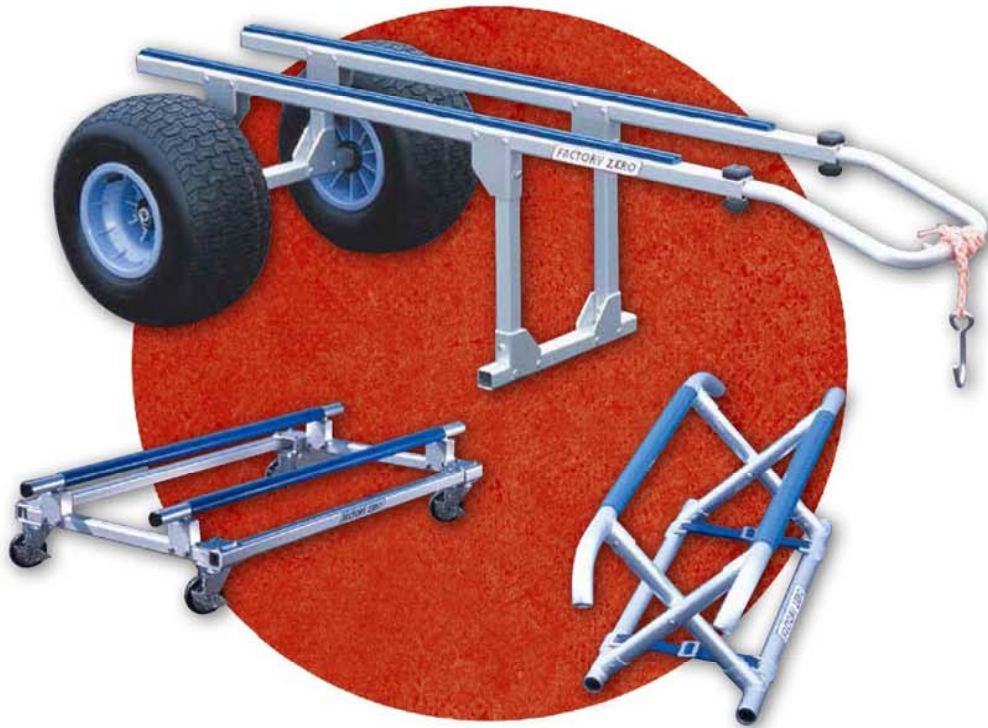


世界で愛される
日本の製品

Made in JAPAN



FACTORY ZERO

ファクトリーゼロ

<http://www.factory-zero.co.jp/>

すぐれた品質と性能を誇る日本の製品は、多くの分野で世界中から高い評価を受けている。

職人気質な日本人だからこそ生み出せた、珠玉の製品の数々。

ニッポンのものづくりの現場に足を踏み入れ、そのこだわりを垣間見る。



国内
トップシェアを
誇り
海外へも
躍進する
船台メーカー

PWCの船台といえばファクトリーゼロといえるほど、国内で圧倒的なシェアを誇る同社の製品。ジェットランチャー、ジェットバンク、ビーチスタンドなど、様々な運搬・保管用の船台を世に送り出してきたが、そんな国内トップブランドが産声を上げたのは、今から35年前

の1980年。創業者である向井氏と校條氏はヨットのマストを製作する金属加工会社から独立し、ファクトリーゼロを設立。それまでのノウハウを活かし、当時はヨットのマストや船台を中心に製作していたという。そこから月日は流れ、創業から15年後の1995年にPWC

業界に参入。それまでに培ったヨットやディンギーの船台製作のノウハウを活かして、まずはゲレンデでの運搬用の船台を製作したが、残念ながらこの製品は思うように普及しなかった。というのも、当時はレースが主流の時代で、多くのひとが様々なゲレンデを転戦。つまりトラ

ンポに積んで運べるのが絶対条件であり、ディンギーの船台をベースに開発されたこの製品では、サイズが大きすぎたのだ。それを受け、ファクトリーゼロはPWC専用設計の船台の開発に着手。そうして生まれたのが、同社最大のヒット商品であるジェットランチャーだ。



神奈川県平塚市にヨットのマストや船台といった金属加工会社として設立したファクトリーゼロ。その後数回の移転を経て(左)、現在は同県海老名市に本社工場を構える(下)。



創業当初から残っているマスト製作。過去にはオリンピックのメダリストにもマストを提供しており、現在もオリンピック候補選手が愛用する。



工場内には様々な製品に用いられるアルミのフレームがずらり、この場所から、ファクトリーゼロのすべての製品が生み出されている。

